

# 「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		ごみ処理事業費 [ごみ処理事業]									
予算科目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費	事業番号	1
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	ごみ対策 課					ごみ減量 係		課長名	中山 仁		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 7		
【施策名】 ごみの減量とリサイクルの推進								総合計画書(ページ)	97		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	ごみ・資源物					ごみ・資源物の収集量(集団回収分を除く。)					
	→										
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	収集したごみ及び資源物が処理され再資源化されている。					再資源化率(集団回収分を除く。)					
	→										
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	一部事務組合等により、ごみ及び資源物を中間処理及び最終処分し、再資源化する。					再資源化量(集団回収分を除く。)					
	→										
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
			平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標			
2	対象指標	①の数値	トン	19,527	20,008	20,668					
	成果指標	②の数値	%	32.9	31.5	34.7					
	目 標	②の目標値									
		目標値設定の考え方 ごみ・資源物として排出されたものの再資源化率の向上を図る。									
	活動指標	③の数値	トン	6,428	6,442	7,162					
3	事業費(実績)		円	1,182,973,998	1,220,448,612	1,259,509,863	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	822,026,848	838,498,744	830,779,151					
		特定財源(国・都・他)	円	360,947,150	381,949,868	428,730,712					
		(うち受益者負担)	円	193,183,432	206,154,853	192,006,712					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	6.0	6.0	6.0					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	49,464,000	49,860,000	50,280,000					
	職員人件費(再任用)	円	0	0							
事業費+人件費		円	1,232,437,998	1,270,308,612	1,309,789,863						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和29 年度								
	(2) 環境の変化		平成18年度から、東京たま広域資源循環組合においてエコセメント化施設の本格稼働に伴い、焼却灰の埋立はしていない。 平成26年8月、収集体制の変更・一部戸別回収の実施。 平成26年10月、家庭廃棄物の有料化を導入。 平成30年度から、破碎不燃物の埋立は行われておらず、民間事業者のもとで再資源化されている。 平成31年4月、小平・村山・大和衛生組合 資源物中間処理施設が稼働開始。								

事業名称	ごみ処理事業費 [ごみ処理事業]			
担当部署・課長名	ごみ対策	課	ごみ減量	係 課長名 中山 仁

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	・平成26年8月1日から実施した戸別収集については、可燃ごみ・不燃ごみ・容器包装プラスチックとなっており、資源物はステーション式であることから、資源物についての戸別収集が望まれている。また、排出が困難な高齢者からの要望もある。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：④		
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )		
(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)			
	・リサイクル協力店や、廃棄物の排出抑制及びリサイクルの促進のための事業を積極的に活用してもらう仕組みづくりが必要。 ・ごみや資源物の不適正な排出が見受けられる。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	・ホームページやごみ分別アプリ、廃棄物広報紙を活用して、廃棄物の排出抑制やごみの適正排出に向けた啓発に取り組んだ。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)				
廃棄物の発生抑制と分別のさらなる徹底に向けた啓発に努める。				
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名： ごみの減量とリサイクルの推進				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名( )				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 引き続き、搬入割当量を下回るよう、発生・排出抑制を促進する周知等を行う。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
廃棄物広報紙「ごろすけだより」やごみ分別アプリ等の活用により、市民・事業者の廃棄物減量を促進する。				